

## 施設ご案内・交通ご案内

### 介護老人保健施設 女池南風苑

〒950-0943 新潟市中央区女池神明1丁目3番地3  
TEL(025)284-3411 FAX(025)284-2188

### 在宅介護支援センター 女池南風苑 [指定居宅介護支援事業者]

〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野2009-3  
TEL(025)283-0500 FAX(025)283-0663

### 新潟南訪問看護ステーション

〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野2009-3  
TEL(025)284-7511 FAX(025)283-0663

### にいがたみなみ めいけクリニック

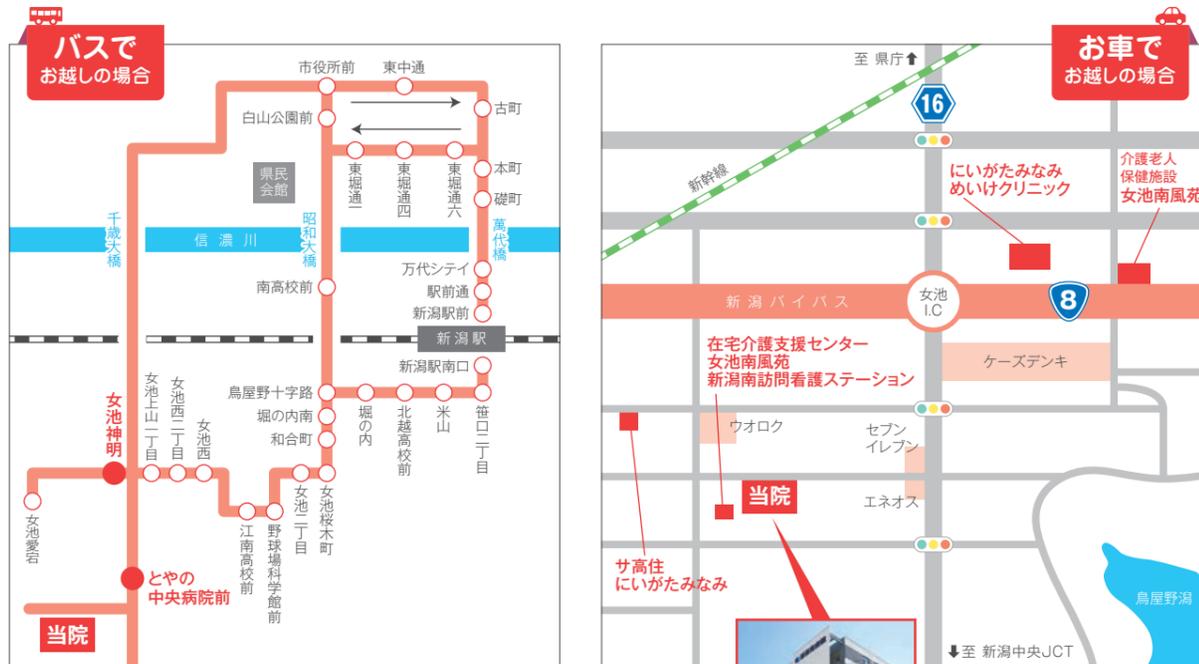
〒950-0943 新潟市中央区女池神明1丁目7番地8  
TEL(025)284-7818 FAX(025)284-7830

### サービス付き 高齢者向け住宅 サ高住 にいがたみなみ

〒950-0950 新潟市中央区鳥屋野南3丁目25番16号  
TEL(025)284-3535 FAX(025)282-7226

### 院内保育所(24時間保育) わんぱく園

〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野2009-3  
TEL(025)284-9563



新潟駅南口方面からお越しの場合  
(S51女池線)女池愛宕行(3番線)にご乗車いただき「女池神明」で下車 徒歩15分  
新潟市役所方面からお越しの場合  
(S1市民病院線(6番線)にご乗車いただき「とやの中央病院前」下車、徒歩5分

上記以外にも、最寄りのバス停から当院までのルートを下記のURLにて調べることができます。

### にいがた新バスシステムの時刻表・運賃検索

<https://transfer.navitime.biz/niigatabrt-newsystem/pc/map/Top>



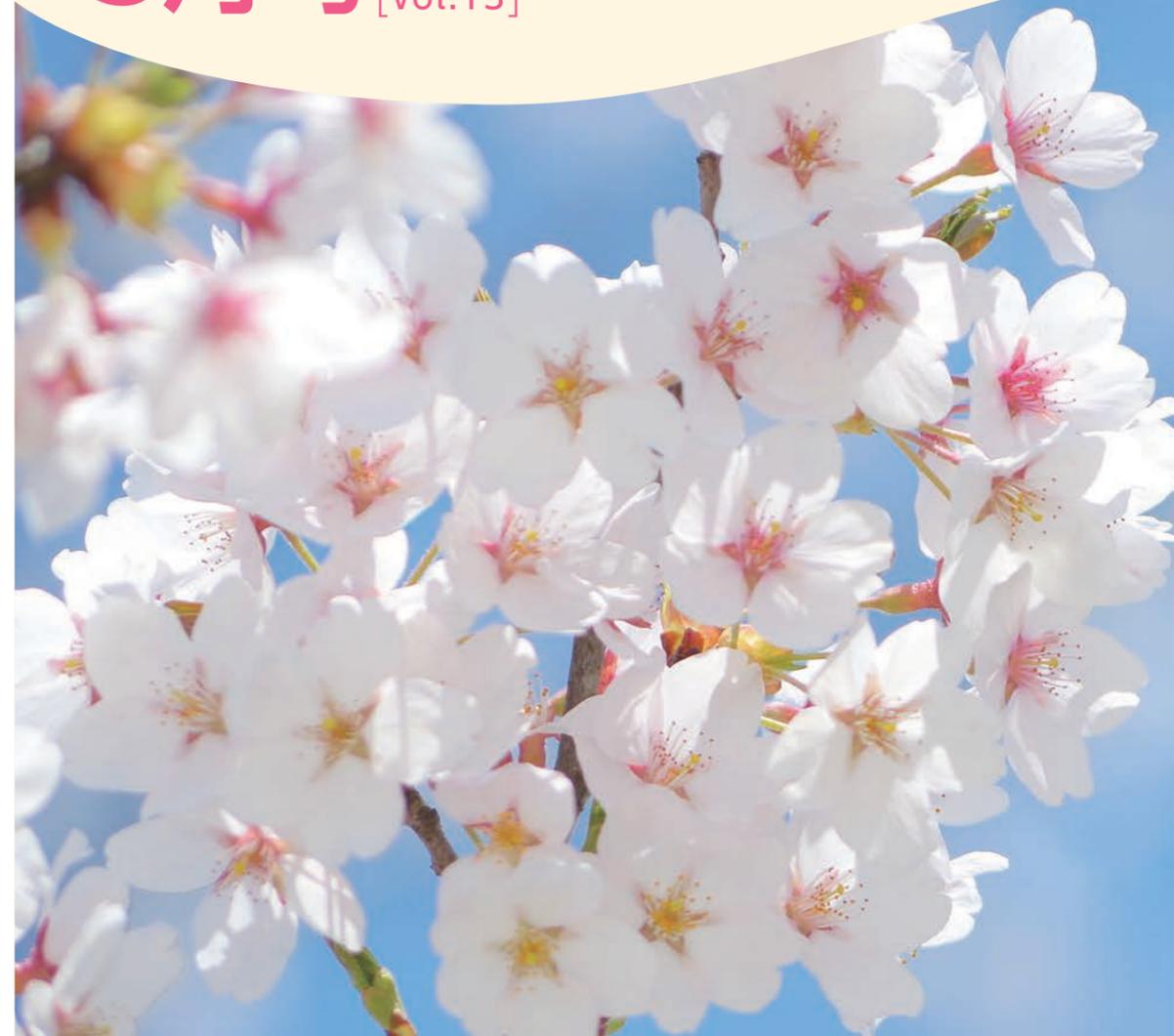
### フロアご案内

<b>1階</b>	10 総合受付	21 母乳外来	3階	31 手術センター
11 小児科 <small>小児言語聴覚療法</small>	22 整形外科・外科・皮膚科・泌尿器科	32 管理部門	4階	● 西病棟 401 ~ 420 ● 東病棟 451 ~ 469
12 内科	23 眼科	5階	● 西病棟 501 ~ 515 ● 東病棟 551 ~ 561	
13 中央処置室 <small>採血 点滴 化学療法</small>	24 歯科・婦人科	6階	● 西病棟 601 ~ 610	
14 放射線	25 ドック・健診センター			
15 内視鏡・生理検査				
16 救急・時間外				

# みなみだより

## 平成31年 3月号 [vol.13]

にいがたみなみ めいけクリニックのご紹介	2・3
ドック・健診センターのご紹介	4・5
外科・手術室のご紹介	6・7
リハビリ科のご紹介	8・9
病棟のご紹介(その1)	10
総合受付のご案内	11
施設ご案内・交通ご案内	12



## 医療法人 恒仁会 新潟南病院

介護老人保健施設 女池南風苑  
在宅介護支援センター 女池南風苑  
[指定居宅介護支援事業者]  
新潟南訪問看護ステーション  
にいがたみなみめいけクリニック  
サ高住 にいがたみなみ  
院内保育所(24時間保育) わんぱく園

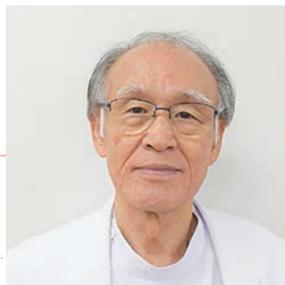
〒950-8601  
新潟市中央区鳥屋野2007-6  
TEL(025)284-2511(代表)  
FAX(025)284-2080

<http://www.niigataminami-hp.com>

基本理念：  
医療・保健・福祉活動を通して地域社会に貢献し、  
社会的責任と与えられた使命を全うします

# にいがたみなみ めいけクリニックのご紹介

にいがたみなみ めいけクリニック  
院長 樋熊 紀雄



## クリニック開設の目的

### 新潟南病院の沿革と跡地利用

本院は、1978年4月にグループプラクテスとして開院し、1982年に医療法人恒仁会新潟南病院に改組しました。そして、2018年4月に開院40年目を迎えました。その間、建物の老朽化とスペース難が進み、2018年11月に女池地区から鳥屋野地区に新築移転しました。結果、病院跡地には築後17年のきれいな西棟が遺りました。そこで、移転を契機に西棟1階をクリニックとして再利用することといたしました。内科とリハビリ科を開設します。これまで病院をご愛顧頂いた患者さんの利便性を考えた結果です。開設に際しては、新病院と電子カルテを完全に共用しました。これにより、今まで利用された患者さんの医療情報は無駄なく共有され、高度の医療サービスがクリニックでも提供できます。



電子カルテ

クリニックの診療は、月曜日から金曜日、午前9時から12時で土、日、祭日は休診です。

## 内科

内科診療は2018年12月3日から診療を開始しました。下記の先生が担当しています。

	月	火	水	木	金
医師名	渡部 透	和泉 徹	樋熊紀雄	津畑千佳子	横山明裕
専門医	内科 血液科	内科 循環器科	内科 循環器科	内科 呼吸器科 感染症科	内科 循環器科

## リハビリテーション科

リハビリ科の診療は、2019年2月1日に開始しました。クリニックでのリハビリ活動の目的は、病気を予防し、元気な自立生活を終生維持することです。リハビリに参加希望の患者さんは、まず新潟南病院を訪問し、適切なリハビリ処方を受けてください。その後、病気の再発予防や重症化予防を目途に運動療法や栄養指導・生活指導を包括的に継続していきます。スタスタ歩きを支援し、介護負担を軽減するリハビリ活動を目指しています。遠慮なくご相談・ご参加ください。お待ちしております。

リハビリテーション科 診療担当医

	月	火	水	木	金
医師名	小幡裕明	和泉 徹	小幡裕明	樋熊紀雄	樋熊紀雄



リハビリ室：リハビリの様子





# ドック・健診センターのご紹介

ドック・健診担当  
内科部長 上原 彰史



ドック健診のシステムは日本が発祥の地で昭和29年に本格的に始まりました。この“人間ドック”ということば。みなさん一度は聞いたことがあると思います。ここで“ドック”とは何でしょうか？航海を終えた船舶が船体や機械・機材を点検し、修理や整備を行う場所を“ドック”といいます。人間ドックはここから由来しているのです。私たちに身近なものは、自動車の車検のようなものですね。こういったことは人間においては、生活習慣病やがんなどの疾病の予防・早期発見、さらには今後の健康な生活を送るためのアドバイスを受けること、に相当します。

様々なドック健診機関があるなかで、新潟南病院でも人間ドックを実施しております。当施設の特徴はなんといっても、病院が実施施設ですので結果を診療に反映しやすいということです。つまり数値で反映される血液検査や尿検査の結果はもちろんのこと、そうではない心電図・レントゲンや胃カメラ検査などの結果が、単なる医学用語ではなく、そのままの画像結果がすべて電子カルテ上に反映されるのです。そのため現時点だけではなく過去との結果比較などが

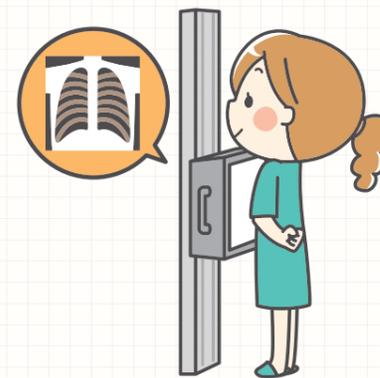
容易にできます。また体調がすぐれずに当院を受診した際、ドック受診時つまり体調がよいときと比較することが容易であるため、診断そして治療によりつながりやすいのです。



人間ドックのコースには、日帰りドックと一泊ドックがあります。またメニューとしては、身長・体重などの一般計測、貧血や腎臓・肝臓の機能や糖尿病などをみる血液検査、心電図検査、胸部レントゲン検査、食道、胃そして十二指腸をみる胃カメラやバリウム検査、大腸がんのスクリーニングをする便潜血検査などがあります。また婦人科や眼科の検査もおこなっています。またオプション検査としては、脳ドックに肺がんドック、骨粗しょう症の検査や乳がん検診などがあります。

なお、人間ドックは病気の有無・診断を行うものであり、緊急性のある場合を除きその場での治療は行っていません。また特定の病状のみから病気の診断を希望する方、またすでに病名が確定していてその重症度を調べたいといった方などには、お勧めできません。

みなさん、ぜひ新潟南病院で“人間ドック”を受けてみませんか？ 詳しくは当院ドック・健診センターまでお問い合わせください。



# 外科・手術室のご紹介

新潟南病院副院長  
手術部長兼外科部長 早見 守仁



## 患者さんにあたたかい手術室とあたたかい診療を

2018年11月より南病院の新病院が稼働いたしました。新病院の構想段階から、手術室をどのようなコンセプトで、どのように作り上げるかは大きな課題でした。私が手術部長として最も大事に考えたのは「患者さんにあたたかい手術室」というコンセプトでした。

手術室というと暗く冷たいイメージ、密室空間という印象をお持ちの方もいるかもしれません。それらを払拭すべく、プライバシーは守られつつも、広く開放的な空間、暖かな配色、明るい照明を取り入れました。

さらに、空調設備にも拘りました。全身麻酔中の患者さんの術中低体温によるさまざまな弊害の報告があります。しかし、だからと言って手術室の温度を上げて手術することは外科医にとって暑い、汗をかく等、手術に集中できない原因にもなっています。そこで新手術室は患者さんが乗るベッド上と外科医が手術をしている場所の空調温度を別々に設定できる最先端のシステムを導入しました。そうすることにより、患者さんの低体温を防ぎつつ、快適な環境で手術を遂行できるという双方のメリットを実現できました。腰椎麻酔や局所麻酔などの術中に意識のある患者さんにも快適な空調温度を提供でき、文字通り、「患者さんにあたたかい手術室」となっています。(ちなみに現在のところ、新潟県でこの最新システムを導入しているのは南病院だけです)

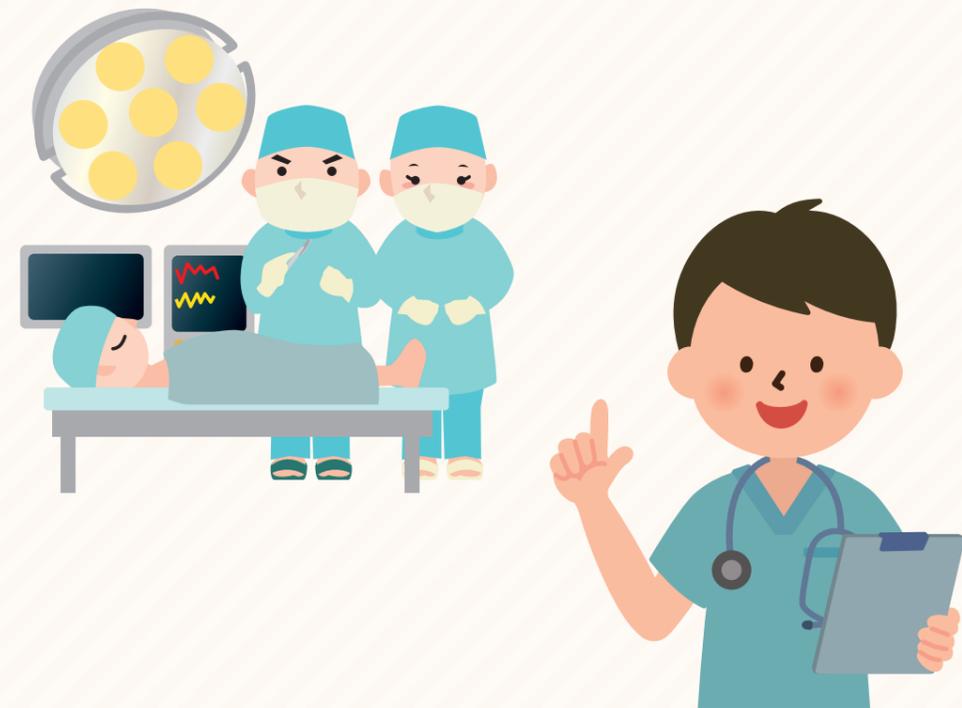
手術室だけでなく、外科医師も、外来・病棟・手術室スタッフも、強い不安をお持ちであろう手術患者さんに温かく接し、安心して手術を受けていただけるよう心掛けています。さらに術前術後において積極的にリハビリを行い、合併症の少ない、そして退院後の不安も少なくできる医療を目指しています。

当院外科では、痔核・痔ろうや、鼠径ヘルニア、虫垂切除といった比較的小さな手術から、胆嚢摘出術や腸閉塞手術、さらには胃癌・大腸癌といった大きな手術まで幅広く対応しています。腹腔鏡下の手術も稼働しており、多くの患者さんのニーズにこたえられると考えています。なにより、外来での術前検査から、入院、手術、術後管理、リハビリ、退院支援、外来フォローアップまで、一貫して当院で行うことができるのも強みであると考えています。

また、手術治療以外にも、抗がん剤治療や緩和医療といった幅広い医療を外科が提供しており、他院で手術を行った方でも、患者さん、ご家族の御意向があれば当院で継続して診療することも全く問題ありません。是非ご相談ください。

南病院外科では、安心安全を第一に、患者さんにあたたかい医療を心掛けています。

無事に退院日の笑顔を共有できるよう外科診療を行っていきたいと考えています。



# リハビリ科のご紹介

リハビリ科 小幡 裕明、スタッフ一同



通じる“食べること”を全力で支えます。また回復期リハビリテーション病棟の新設により、疾患の急性期治療を脱し、まさに回復期の患者さんに、集中的なりハビリと社会的・心理的サポートを実施しています。社会参加を目指した病棟生活は、笑顔の絶えない暖かな雰囲気に包まれています。

この充実したリハビリ体制を武器に、当院では“DOPPO(独歩)プロジェクト”という独自の取り組みを行っています。入院を機に歩けなくなる患者さんが一人でも減るように、積極的なリハビリを行い、歩行機能の維持、運動習慣の獲得、再入院予防を病院ぐるみで実践しています。当院では入院患者さんの7割以上がリハビリを受けており、365日、休日もリハビリを提供しています。この独自の取り組みは既に9年目を迎え、最近では80歳以上の患者さんの実に9割近くが、元の歩行機能を低下させずに退院します。さらに私たちは、退院後の生活にも十分なケアを行い、必要に応じて退院前にご自宅を訪問し、福祉用具の選定や手すりの設置なども提案します。また、外来での通院リハビリをより多くの方に提供できるよう、新病院のみならず旧病院跡地のめいけクリニックにおいて、外来リハビリを開始しました。美しく改装され、新たな機器が設置されたリハビリ室は見ちがえるようです。

人生100年時代と言われる一方で、健康寿命の延伸も大きな課題となりました。今、医療の対象は高齢患者さんが多くを占め、疾病と共存し、健康寿命を延ばせる“支える医療”が主体となっています。リハビリテーションは、この現在の医療において欠くことのできない“治療”なのです。当院では、こうしたリハビリニーズの多様化にいち早く対応し、経験豊富で明るいスタッフが、質の高い治療を入院から外来まで継ぎ目なく提供しています。その結果、患者さんのみならず、ご家族にも“元気”を提供したいと考えています。

## リハビリで元気に!

“デコンディショニング(deconditioning)”という言葉をご存知でしょうか?

病気によって体の具合が悪くなる…このような時、私たちは家でも病院でも、まず安静にして休むことを勧められるはずですが、もちろんこれも大切な“治療”であることは間違いありません。しかしながら、長期間の安静・臥床の結果、骨格筋の萎縮による運動能力の低下のみならず、心拍数や血圧調節の異常といった身体調節機能の異常を生じることが明らかとなり、これを“デコンディショニング”と呼ぶのです。いわゆる“病み上がり”の状態が科学的に証明されたものと言えます。特に高齢の患者さんは、もともと身体的な脆弱性が高い“フレイルの状態”であるため、このデコンディショニングを来しやすく、病気が軽快しても“歩けない”、“退院できない”といった深刻な問題が起こりやすいのです。

当院では、脳血管、運動器、廃用症候群、心臓大血管、呼吸器といった多様な疾患別リハビリすべてに対応できる体制を整えています。特に心臓・血管病に関するリハビリに力を注いでおり、運動療法だけでなく、食事や生活の指導を行い、疾病の再発予防に努めています。そのため、心疾患をはじめとした多くの疾病を抱える高齢の患者さんへ、安心かつ柔軟なりハビリ治療が可能です。新病院移転に際し、当院のリハビリはさらに機能強化を図りました。まず、摂食嚥下リハビリ部門に専門の歯科医が着任し、高齢者を悩ませる“誤嚥”による肺炎に対して、最新の嚥下内視鏡検査機器による評価、歯科衛生士や栄養サポートチームと連携しながら、ヒトの根源的な幸せに



# 病棟のご紹介 その1



6階西病棟師長 田村 好美

新病院移転後12月1日から回復期リハビリテーション病棟が新設されました。回復期リハビリテーションとは、急性期の治療を終えて症状が安定した患者様に行う集中的なリハビリのことです。回復期リハビリテーション病棟では、多くの専門職種がチームを組んで、一人ひとりに合わせて能力の向上を図ります。リハビリ室での基礎的なリハビリの他、病棟での生活においても、食事や移動動作などもリハビリになります。今までできなかったことができるようになり、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的としています。

入院から退院まで毎月、看護師やリハビリ職員、相談員などが話し合いを行い、リハビリ計画を立てて患者様の生活環境、生活リズムに合わせたケアを行います。退院前には退院後の介護サービス担当者との連絡調整を行い、スムーズに在宅生活ができるように一緒に考えていきます。また、いろいろな病気の方を幅広い診療科の疾患を対象としたリハビリを実施しており、急な症状の変化に対しても対応が可能です。

病棟は最上階6階にあり、見晴らしがよく、天気の良い日には飯豊連峰、五頭山、佐渡島を見ることができ、気持ちよく日常生活が送れる環境となっています。また、同じフロアにリハビリ室があるので、リハビリにしっかりと取り組める環境となっています。

ベッドからの離床100%を目指し、食事はホールで食べる、排泄はトイレで!オムツは極力使用しない、日中は日常着で過ごし、夜間はパジャマに着替えることを実施しています。また、病棟でレクリエーション等に参加し、ベッドで寝ていないように病棟生活を送ってもらっています。12月23日にはクリスマス会を実施し、リハビリも兼ねた脳トレビンゴゲーム、ボール送りゲーム、風船ゲーム、クリスマスソングをみんなで合唱し楽しみました。



# 総合受付のご案内



新病院に移転し、総合受付も一新致しました。

正面玄関をいただくと、大きな窓から差し込む明るい陽射しの中に、自動受付機が設置されています。自動受付機の使用方法は、旧病院の時と同様になっており、今までの診察券はそのままご使用いただけます。また12月に併設致しました「にいがたみなみめいけクリニック」でも共通でお使いいただける診察券です。

旧病院では、受付と会計の窓口が離れておりましたが、新病院は受付・会計窓口が一緒に配置されています。受付・会計窓口が一体化され、よりきめ細やかな対応が出来るようになりました。

正面から向って左側が受付窓口です。一番左の窓口は車イスで来院の方に合わせた高さの設計になっており、新しい記載台には、車イス用の机もご用意してあります。

また、新病院では、会計窓口のほか、自動精算機でも会計が可能となりました。診察終了後に外来でクリアファイル形式のバッグをお渡し致しますので、会計窓口にお出し下さい。その際、会計の受付番号をお渡しします。会計が出来ましたら掲示板に会計番号が表示されますので、会計窓口又は自動精算機でお支払下さい。番号表示を行うことで、プライバシー保護の観点から、窓口でお名前をお呼びすることなく、会計が出来るようになりました。

なお、この診察終了後皆さまにお渡ししておりますクリアケースのバッグは、新病院移転に伴い変更したものです。今回、新たに中身が透けない仕様としてバッグに柄がついておりますが、よく見ると当院のシンボルマークが描かれていることがおわかりになると思います。青いラインは南のMをデザイン化してございます。そして赤いマークはご利用して下さいの皆さまです。私たち職員が医療・保険・福祉という三つのサービスの提供を通じて、利用者の皆さまを温かく包み込みたいという願いを表している新潟南病院のシンボルマークなのです。

今後も引き続き、差し込む明るい陽射し以上に、皆さまへの温かい対応を受付・会計窓口職員一同心がけてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

